

開催報告

土木学会令和3年度全国大会第76回年次学術講演会開催報告

ユニチカ（株） 江崎 孝二

土木学会の令和3年度全国大会第76回年次学術講演会が、2021年09月06日～10日の日程で、昨年に続き、オンライン方式にて開催されました。（年次学術講演会は09月09日～10日）

今回のテーマは、「これまでも、これからも生活経済社会の礎を築く土木 ～市民と連携し、インフラのビッグ・ピクチャーを描こう～」となっており、東日本大震災から10年の大会として、豪雨・洪水・地震などの災害への対応・対策、およびインフラのメンテナンス等に関して、多くの発表がなされていました。



全国大会の内容としては、「研究討論会」、「基調講演会」、「特別講演会」、「全体討論会」、「国際ラウンドテーブルミーティング」、「国際ショナルサマーシンポジウム」、「国際若手技術者ワークショップ」、「オンライン見学会」等で構成されており、講演会や見学会はオンデマンド配信となっていました。

学術講演会において、ジオシンセティックス関係では、第Ⅲ部門に多くの投稿が見受けられ、従来の補強土に関する論文以外にも洗堀・浸食の投稿もありました。他にも第Ⅱ部門でシート被覆による水防工法、第Ⅴ部門でコンクリート表層のシート養生、共通セッションで遮水シートの耐久性、等に関する論文が投稿されていました。

次回は、令和4年09月14日～16日に、京都大学および国立京都国際会館で開催予定となっています。コロナ禍が終息し、さらに活発な議論がなされることを期待しております。